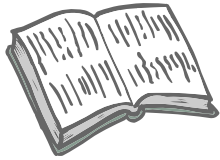


同好会報告



詩吟同好会

1. 詩吟の稽古

詩吟同好会は、大和豊山流の川村溪泉先生指導により毎月1回第4週土曜日の午後1:30から2時間、新宿ヒルトンホテル内の音羽亭で稽古を行なっています。



音羽亭での稽古

当日は詩吟稽古の後、民謡同好会、会報KANASA編集会議、東京秋工会役員会、懇親会と続き、全てに参加することにより東京秋工会活動の充実した1日を送ることができます。

2. 詩吟の発表会

稽古の成果は、例年10月に白井市文化センターで開催される大和豊山流の詩吟大会において発表します。ブロックのメンバーとして東京秋工会は、全員による合吟と、各自稽古をした中から吟題を選び独吟を披露します。昨年の合吟は川中島(頼山陽作)でした。

この他、例年金砂健児の集いで合吟を披露しています。

また、母校創立100周年と110周年の記念懇親会では、全国から集まった大勢の同窓生の前で披露し好評を得ました。

3. 詩吟について

詩吟は、漢詩に節をつけて声高らかに歌うことです。詩吟の吟じ方の要点は、「腹式呼吸」と「明瞭な滑舌」です。

「腹式呼吸」は、臍下丹田を膨らませながら鼻から息を吸うことにより肺に入る空気が多くなり、長く声を出し続けることができ、音域を広げることもできます。

腹式呼吸は、座禅でも取り入れられ精神を安定させ、肩の力みが取れ、血液循環を促し健康にも良いとされています。

「明瞭な滑舌」のために、口と舌をしっかり動かす必要があります。詩吟の稽古により舌と口周辺の筋肉が鍛えられ、誤嚥防止に繋がりがり介護予防にもなります。

吟ずる詩は古くは中国漢時代から現代までの名作であり、歴史を知るとともに、暗誦することにより記憶力の維持ができます。

4. 同好会メンバー



平成27年「金砂健児の集い」で「川中島」合吟
(写真：東京秋工会HPより借用)

現在活動中のメンバーは7名で、上記写真の左から、地主 勝己(碓風)(S37C) 4段、加賀谷 健治(環風)(S36E) 4段、佐々木 進(里風)(S40S) 4段、遠藤 久志(S43E) 新規入会、三平 俊悦(旭風)(S39A) 5段、伊藤 芳男(周風)(S34C) 4段。それに、同好会代表の鈴木 彦之(笙風)(S31M) 3段です。

5. 新規メンバー募集

会社をリタイアして一生元気で過ごしたい同窓生は、健康維持のためにも、詩吟同好会に入会される事をお勧めします。

詩吟同好会

代表 鈴木 彦之(昭和31年機械科卒)
事務局 佐々木 進(昭和40年探鉱科卒)
携帯 080-5187-4422

◆ 記事

加賀谷 健治 (昭和36年電気科卒)
東京秋工会 副会長

繋げる可能性。
未来のために。



株式会社 KM

代表取締役 伊藤幹夫(昭和46年建築科卒)

バイリンガルプリスクール 幼児から大人の英会話 バイリンガルアフタースクール
「すくすくワールド」 「東京パスポート学院」 「プラスアップ」
www.sutokuw.com www.gakuin.co.jp www.plusup-kids.com



Estimation of Architecture

有限会社 不二コストプラン

代表取締役 宮越 直哉
取締役 宮越 敏光(昭和38年建築科卒)

〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町45番地
ライオンズマンション秋葉原1205号
TEL. 03-3255-5806 FAX. 03-3255-5807
E-mail miya-bin@mtb.biglobe.ne.jp